

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	科目番号	学年
13082	2	後期	必修	13042	2
授業科目名 (英文)	栄養教育論Ⅱ (応用・ライフステージ別栄養教育) (Nutrition Education Part Ⅱ)				
担当教員名	齋藤 さな恵				
授業の概要及び到達目標					
<p>栄養教育論Ⅰに基づき、ライフステージ別栄養教育法および集団を対象とした栄養教育法を実践的に学ぶ科目である。対象者のアセスメント結果から実態の把握、栄養教育の計画・立案と実施、評価を通して栄養教育プログラムを総合的にマネジメントできるような理論と方法を講述する。</p> <p>到達目標：ライフステージ別の栄養教育プログラムを総合的にマネジメントできる理論と方法を身に付ける。</p>					
準備学習等					
<p>栄養教育論Ⅰ、応用栄養学Ⅰの内容を復習し、授業に臨むこと。</p> <p>第1回：教科書 総論第3章②の食事調査法について予習しておく。</p> <p>第2回：妊娠期・授乳期の特徴について復習し、教科書 各論第1章①(妊娠・授乳期)を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。</p> <p>第3～4回：乳幼児期の特徴について復習し、教科書 各論第1章②(乳・幼児期)を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。</p> <p>第5～6回：学童期の特徴について復習し、教科書 各論第1章③(学童期・思春期)を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。</p> <p>第7～10回：成人期の特徴について復習し、教科書 各論第1章④(成人期)を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。</p> <p>第11～12回：高齢期の特徴について復習し、教科書 各論第1章⑤(高齢期)を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。</p> <p>第13～15回：教科書 各論第1章⑥⑦⑧を読み、栄養教育のポイントについて予習しておく。</p>					
成績評価の方法	定期試験：90%、授業態度：10%				
テキスト	<p>①「新版ヘルス 21 栄養教育・栄養指導論」(辻とみ子他：医歯薬出版(ISBN: 978-4-263-70718-0))</p> <p>②「食事バランスガイド」を活用した栄養教育・食育実践マニュアル(第一出版(ISBN 978-4-8041-1179-7))</p> <p>③「日本人の食事摂取基準 2015年版」(第一出版 (ISBN 978-4-8041-1312-8))</p>				
参考図書	<p>※「栄養ケア・マネジメント 基礎と概念」(木戸康博他：医歯薬出版(ISBN: 978-4-263-70981-8))</p> <p>その他、資料を適宜配布する</p>				

備 考	オフィスアワーは desknet' s の一覧を確認すること。 小テストは採点、コメント加筆の上、授業内に返却する。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各 学科の履修系統図を確認すること。
授 業 計 画	
<p>第 1 回：栄養教育のためのアセスメント（食事調査）</p> <p>第 2 回：妊娠・授乳期を対象とした栄養教育</p> <p>第 3 回：乳幼児期を対象とした栄養教育①</p> <p>第 4 回：乳幼児期を対象とした栄養教育②</p> <p>第 5 回：学童期を対象とした栄養教育①</p> <p>第 6 回：学童期を対象とした栄養教育②、思春期を対象とした栄養教育</p> <p>第 7 回：成人期を対象とした栄養教育①</p> <p>第 8 回：成人期を対象とした栄養教育②</p> <p>第 9 回：成人期を対象とした栄養教育③</p> <p>第 10 回：成人期を対象とした栄養教育④</p> <p>第 11 回：高齢者を対象とした栄養教育①</p> <p>第 12 回：高齢者を対象とした栄養教育②</p> <p>第 13 回：障害者を対象とした栄養教育</p> <p>第 14 回：不特定多数に対する栄養教育</p> <p>第 15 回：地域における栄養教育</p>	